

令和元年不動産鑑定士試験論文式試験

経済学(問題) { 満点 100 点  
時間 2 時間 (13 時 30 分 ~ 15 時 30 分) }

[注意事項]

- 1 問題用紙及び解答用紙は、係官の指示があるまで開けてはいけません。
- 2 これは、問題用紙です。解答は、解答用紙に書いてください。
- 3 問題用紙は表紙を含めて5ページ、解答用紙は表紙を含めて5ページです。
- 4 解答は、解答用紙の所定の欄に、黒若しくは青のボールペン又は万年筆で丁寧に書いてください。鉛筆等で書くと無効となります。
- 5 答案の下書きは、問題用紙の余白部分を利用してください。
- 6 問題用紙は、本科目終了後、持ち帰っても構いません。

問題 1 (50点)

次の(1)及び(2)の各設問に答えなさい。

(1) 個人Aと個人Bからなる純粋交換経済を考える。この経済には二つの私的財xとyが存在する。個人Aの効用関数 $u_A$ と初期保有量 $e_A$ は

$$u_A = \min\{2x_A, y_A\}, \quad e_A = (e_{A,x}, e_{A,y}) = (2, 4)$$

であり、個人Bの効用関数 $u_B$ と初期保有量 $e_B$ は

$$u_B = x_B y_B, \quad e_B = (e_{B,x}, e_{B,y}) = (8, 6)$$

である。

ただし、 $x_A$ と $y_A$ はそれぞれ個人Aのx財とy財の消費量、 $e_{A,x}$ と $e_{A,y}$ はそれぞれ個人Aのx財とy財の初期保有量である。同様に、 $x_B$ と $y_B$ はそれぞれ個人Bのx財とy財の消費量、 $e_{B,x}$ と $e_{B,y}$ はそれぞれ個人Bのx財とy財の初期保有量である。

財xの価格を $p_x$ 、財yの価格を $p_y$ と表す。

注意： $\min\{a, b\}$ の意味は、 $a$ と $b$ の小さい方の値である。例えば、 $\min\{2, 1\} = 1$ 、 $\min\{2, 2\} = 2$ 、 $\min\{3, 2\} = 2$ となる。

以上を前提として、次の各問に答えなさい。

- ① 私的財を定義しなさい。
- ② 個人Aの無差別曲線の例を1つだけ図示しなさい。
- ③ 個人Bの無差別曲線の例を1つだけ図示しなさい。
- ④ 個人Aの予算制約式を書きなさい。
- ⑤ 個人Bの予算制約式を書きなさい。
- ⑥ 価格と初期保有量を所与として、個人Aの二財x, yに対する需要量を求めなさい。
- ⑦ 価格と初期保有量を所与として、個人Bの二財x, yに対する需要量を求めなさい。
- ⑧ 価格比率 $\frac{p_y}{p_x} = \frac{4}{3}$ が競争均衡における価格比率であることを示しなさい。また、競争均衡における資源配分も求めなさい。

(2) 私たちの社会は、多くの経済主体からなり、価格を通じた自由な財の取引である市場経済に依拠している。設問(1)で検討した純粋交換経済における競争均衡は、その市場経済の数学的モデル化である。取引の結果である資源配分を決める制度は多くあり、その経済的帰結が異なる。

このことに関連して、次の各問に答えなさい。

- ① 市場経済がもたらす資源配分の長所と短所について、効率性と公平性の観点から簡潔に論じなさい。
- ② 政府が全ての経済主体から初期保有を取上げて、消費者に均等に配分するような配給制度を考える。この配給制度がもたらす資源配分の長所と短所について、効率性と公平性の観点から簡潔に論じなさい。
- ③ 貨幣が存在せず、全ての経済主体は取引相手を見つけて交渉しなければならないような制度を考える。この交渉制度がもたらす資源配分の長所と短所について、効率性と公平性の観点から簡潔に論じなさい。

## 問題2 (50点)

下記の式①と式②から構成される「IS-LMモデル」は、外国との経済取引を行っていない1つの国のマクロ経済をモデル化したものである。この「IS-LMモデル」について説明した後記の「モデルの図解」を読み、(1)から(4)の各設問に答えなさい。

### IS-LMモデル

$$\textcircled{1} \quad Y = C(Y-T) + I(i) + G$$

$$\textcircled{2} \quad \frac{M}{P} = L(Y, i)$$

ただし、 $Y$ は国民総生産、 $T$ は税金、 $i$ は利率、 $G$ は政府支出、 $M$ は通貨供給、 $P$ は物価水準（常に $P=1$ で一定とする）、 $C(Y-T)$ は民間可処分所得 $Y-T$ の関数として与えられる民間消費支出、 $I(i)$ は利率 $i$ の関数として与えられる民間投資支出、 $L(Y, i)$ は国民総生産 $Y$ と利率 $i$ の関数として与えられる通貨需要である。

なお、 $T$ 、 $G$ 及び $M$ は政策変数であり、 $T$ と $G$ は政府によって、 $M$ は中央銀行によって完全にコントロールされるとする。また、 $P$ が一定であることを反映して、予想物価上昇率は常にゼロであり名目利率と実質利率は区別なく共に $i$ で表されるとする。

### モデルの図解

この経済の財・サービス市場の均衡式である式①を満たす $Y$ と $i$ の組合せは、政策変数である $T$ と $G$ を一定としたとき、図1に示すように「横軸に $Y$ 、縦軸に $i$ をとった $Y-i$ 平面」において右下がりのIS曲線として描かれる。また、この経済の通貨市場の均衡式である式②を満たす $Y$ と $i$ の組合せは、政策変数である $M$ を一定としたとき、図1に示すように「 $Y-i$ 平面」において右上がりのLM曲線として描かれる。そして、この経済の国民総生産の均衡値及び利率の均衡値は、IS曲線とLM曲線の交点の $Y$ の値及び $i$ の値で与えられる。

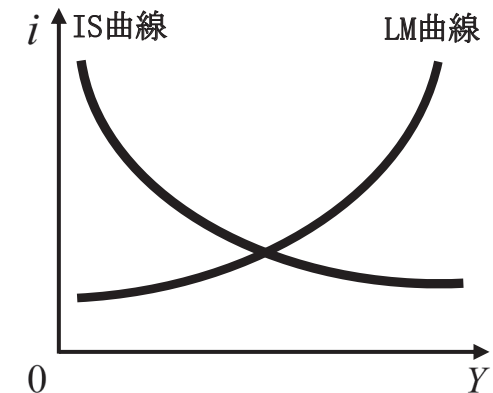


図1

- (1) IS曲線が「 $Y-i$ 平面」において右下がりの曲線として描けるのはなぜか。民間可処分所得の変化と利子率の変化がそれぞれ民間消費支出と民間投資支出にどのようなメカニズムでどのような変化をもたらすと考えられるかについて言及した上で説明しなさい。
- (2) 中央銀行が公開市場操作により通貨供給を増加させる金融政策を行ったとする。この金融政策によって国民総生産の均衡値と利子率の均衡値にそれぞれどのような変化が生じるかを、それらの変化が生じるメカニズムと合わせて説明しなさい。ただし、説明は上記の「IS-LMモデル」を用いて行うこと。
- (3) 均衡財政 ( $G=T$ ) を常に維持するように政府支出と税収をコントロールしている政府が政府支出を増加させる財政政策を行ったとする。この財政政策によって民間可処分所得の均衡値 (国民総生産の均衡値から税収を引いたもの) にどのような変化が生じるかを、その変化が生じるメカニズムと合わせて説明しなさい。ただし、説明は上記の「IS-LMモデル」を用いて行うこと。
- (4) 上記の「IS-LMモデル」では、LM曲線が「 $Y-i$ 平面」において右上がりの曲線として描かれている。しかし、ある特定の経済環境の下では、LM曲線を「 $Y-i$ 平面」において水平な線として描くべき状況が発生しうる。こうした状況は一般に何と呼ばれているかを答えた上で、そうした状況が発生しているとき、中央銀行が通貨供給を変化させても国民総生産の均衡値に影響を与えることが困難になる理由を説明しなさい。

(以下余白)

